

学校教育目標 「つながろう やりぬこう」
重点目標 「すすんで やる子」

子どもたちの日々の成長を感じています

校長 望月 秀一

梅雨空が続く中で、学校の朝は、子どもたちのにぎやかな声で始まります。正門を入ると、1年生は朝顔が咲き始め、「〇〇色が咲いた」と喜ぶ声が飛び交います。2年生は、夏野菜を育てて、ナスやキュウリ、ミニトマトなどの成長を楽しそうに観察しています。中には、家族で収穫できた野菜を食べ、「おじいちゃんが作った物より甘くておいしかったよ。」と、家族団らんの中で育てた野菜を食べ、和やかな会話に幸せな時を過ごしていることが想像できます。子どもたちが、草花や野菜を自分の手で育て、クラスの仲間と楽しそうに観察しながら取り組み、収穫の喜びを実感できる体験活動は、今の子どもたちの成長に欠かせないものであると感じています。

今月は、2日の運動会に始まって、プール開き、神戸地区・PTA共催のカップスタッキング大会、新体力テスト、授業参観、防犯教室、読書旬間、富士市教育委員会学校訪問、薬学講座、二胡コンサートなどがあり、盛りだくさんで充実した1か月でした。

運動会は、学校目標を意識した取り組みになりました。仲間と一緒に、勝利に向かって真剣な眼差しで取り組む姿、笑顔いっぱい楽しく豊かにダンスする姿など、その瞬間瞬間が、仲間と心をつなげ取り組む『つながろう』の場面であったと思います。また、運動会は紅軍白軍に分かれて対戦しますので、どうしても勝敗はついてしまいますが、最後の最後までやり抜く姿は見ている私たちに感動を与えるものでした。係の仕事でも、自分の役割に責任を持ってやりぬく姿は『やりぬこう』の実践になりました。素晴らしい運動会で終えられたことは、保護者、地域の皆様方のご支援によるものであり感謝申し上げます。

3・4年生の授業参観では、総合的な学習の時間にゲストティーチャーを招いて、佐野茂詔さん(地区在住)から、地域の歴史や地名の由来を聞いたり、市街地整備課の職員の方から土地利用の様子について説明を受けたり、新聞社の取材を受けながら授業をすすめました。このことは、富士市神戸土地地区画整理組合からの提案で「新しい地名をつくらう！」に神戸地区の未来を担う子どもたちも一緒に参加し、11月の文化祭で新地名誕生に関わらせていただくものです。子どもたちの自由で、豊かな発想の中で、新しい地名が決まっていくことを願っています。

富士警察署少年サポートセンターと学校薬剤師の秋山智司先生を招いて、全学年に防犯教室、5・6年生に薬学講座を行いました。防犯教室では、不審者に出会ってしまった時の対応や日頃から気を付けることなどを学び、どの子も真剣に聴いていました。また、薬学講座では、「どうい生活をしていたら、薬物に関わらなくて済むか」の問いに、「毎日、きちんと学校に行く。」「薬について正しい知識を身に付ける。」「目標に向かってがんばり合える友達関係をつくる。」など発表していました。ここでも、仲間とつながることの大切さを実感できた時間になったと思います。

このところ、子ども、学校に係る事件・事故が続いています。出来る範囲で結構ですので、子どもたちの登下校の見守りをお願いしたいと思います。子どもたちは見守られている安心感からも、地域への愛着やつながることの良さを感じ取ることができると思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

